

立川南口まちづくり宣言

… 私たちが目指すまちの将来像 …



平成 28 年 12 月
立川南口商店街連合会

立川南口まちづくり宣言

私たち立川南口商店街連合会は、南口商店街を対象*として、次の8つの「まちづくりの目標」を定め、その実現に向けて活動していくことを宣言します。

- 目標① 誰もが安全快適に利用できる歩行者重視のまちにしていきます
- 目標② 車や自転車の利用にも便利な交通環境を構築します
- 目標③ 買物や出会いを楽しめる商店街づくりに取り組みます
- 目標④ 清潔で居心地のよいまちを目指します
- 目標⑤ 人々の暮らしと共存する健全な商店街の実現をめざします
- 目標⑥ 親しみやすく記憶に残る街並みづくりに取り組んでいきます
- 目標⑦ 南口のまちの姿や地域情報を利用者に発信していきます
- 目標⑧ まちづくりに取り組む仲間を増やしていきます

平成 28 年 12 月 1 日

立川南口商店街連合会

立川南口すずらん通り商店街

立川南口いろは通り商店街

立川南口商店街

立川南口中央通り商店会

諏訪通り商店街

日活大通り商店会

南口西通り西会商店会

錦中央通り商店街

錦商店街

錦一二三商店会

※具体的な区域は右図をご参照ください

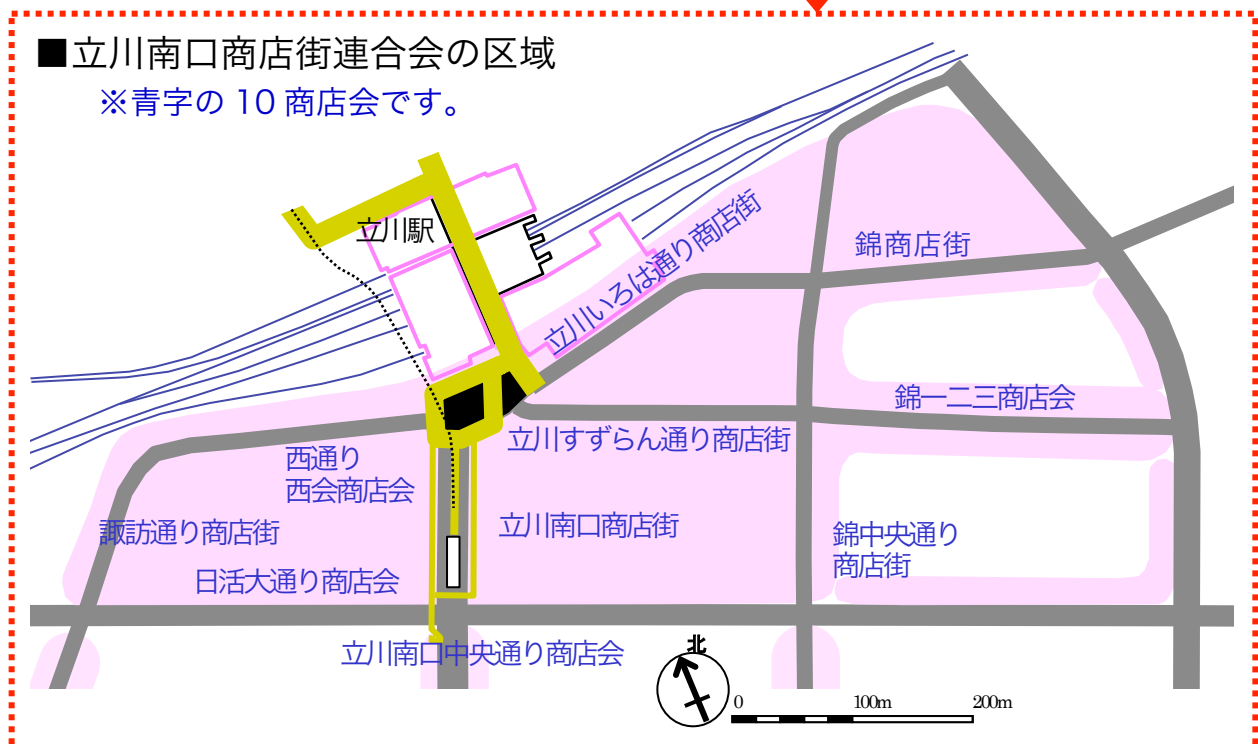
立川駅周辺地域



拡大

立川南口商店街連合会の区域

※青字の10商店会です。



1. 「まちづくり宣言」の趣意

○立川南口まちづくりの歴史

- ・昭和 39 年に都市計画決定された南口土地区画整理事業計画では、市民・行政・商業者等が「次の世代に誇れるまちを」との共通の思いから激論が交わされ、まちづくり方針は 10 年を要して立川南口都市改造計画調査委員会答申としてまとめられました。
- ・その考え方は、外来の巨大資本の導入に依存せず、個人商店を中心とする職住共存のまちの特性を踏まえて「歩行者中心のまちづくり」を基本とし、「快適な暮らしができるまち」「親切な心のかようまち」「個性あるまち」を目指すものであり、そこに込められた先達のまちづくりへの情熱と先見性に賛辞を贈りたいと思います。

○まちづくりへの思い

- ・南口土地区画整理事業は 50 年を経て平成 26 年に完了しましたが、その間には大型商業開発との競合やライフスタイルの変化等があり、店主の代替わりや廃業等も進んでいるため、当初のビジョンが十分継承されず、まちづくりの意識が希薄化していることは否めません。更に南口の環境も大きく変化しており、平成 22 年には市役所が市北部に移転し、跡地には子ども未来センターが建設されました。また、マンション化により一帯の人口は大幅に増加し、立川駅周辺の商店街は幅広い世代の来街者で賑わっていますが、治安・風俗等の問題が見られるようになってきています。
- ・改めてこうした歴史や現状を踏まえると、このまちに根を下ろしている者として、先人から何を継承し、どのようなまちを 50 年後に引き継ぐかを問い直し、新たな視点でまちづくりビジョンを再構築することが必要ではないかと感じております。
- ・しかし本来、立川駅を中心とするまちづくりは、居住者や土地建物の所有者、商店・事務所を経営する者、街を利用する人々等が話し合い、公共的な視点に立ってまちの理念や将来像をまとめ上げ、実現に向けて汗をかくものであらねばなりません。ここに到達するまでには克服すべき事柄は多いとは思いますが、一歩でも早くその端緒に就くことが必要と考えています。

○立川南口商店街連合会としての「まちづくり宣言」

- ・本書は、こうした観点から、立川南口商店街連合会が設置した「立川南口まちづくり懇談会」(以下「懇談会」と略す)に参加した一般市民の意見も参考とし、商店街の立ち位置から、まちづくりとして何を目指しどのように活動するかをまとめたものです。
- ・今後、地元住民や関係団体、更には行政の方々に一つのたたき台として提案し、新たな 50 年に向けて話し合い、地域として共有できるまちづくりビジョンの策定を目指したいと考えております。

■立川南口のまちづくりへの取り組み

昭和 39.8 南口土地区画整理の都市計画決定

昭和 41.2 南口土地区画整理事業の事業決定

- ・ 地元の反対を受けて「住民参加のまちづくり」への見直しを検討

昭和 49.2 立川南口都市改造計画調査委員会の答申書

- ・ 土地区画整理事業計画：道路の位置および幅員、減歩率など
 ※諏訪通り・駅前大通り・錦中央通りに歩行者優先の区画道路を計画、原則は原位置換地
- ・ 商店街整備の目標：魅力ある商店街、地元商店の発展、自主的共同的な商店街づくり
- ・ 商店街の開発構想：駅前の地区中心、周辺の近隣中心、娯楽・レジャー・飲食店街の形成

昭和 51.3 立川駅南口都市改造事業促進委員会の答申書

- ・ 構想策定の着眼点 「通りの個性化」「回遊道路」「広場とバスターミナル」
- ・ まちづくりの方針
 - 「歩行者中心のまちづくり」 (安全なまち)
 - 「快適な暮らしのできるまちづくり」 (買い物が便利で楽しいまち)
 - 「親切な心のかようまちづくり」 (街路樹・ベンチ花壇・小公園などのあるまち)
 - 「個性あるまちづくり」 (自転車、乳母車で買物ができる商店街)

平成 20.11 立川南口まちづくり協議会発足[※]

- ・ 立川駅南口地区土地区画整理事業の完了や市役所の移転・跡地利用など、今後の南口のまちづくりについて、次世代を担う若手商業者の研修・育成・協議の場として設立。

平成 26.10 立川駅南口地区土地区画整理事業完了

平成 26.11 「(仮)立川駅南口まち・みちプロジェクト」としてまちづくりに着手

- ・ 第1回 まちづくり懇談会 (H27.4)：街の現況と課題を話し合おう
- ・ 第2回 まちづくり懇談会 (H27.7)：立川駅南口のまちづくりの方向を考える
- ・ 第3回 まちづくり懇談会 (H27.11)：立川駅南口を歩いて確かめる
- ・ 第4回 まちづくり懇談会 (H28.7)：歩いて楽しいオープンモールのまちづくり
- ・ 第5回 まちづくり懇談会 (H28.10)：立川南口まちづくり宣言案

【まちづくり懇談会の活動と構成員】

○懇談会の構成員 ※商店街から依頼

・ 会員	29 人
住民・学生	11 人
事業者	13 人
各種団体	5 人
・ 事務局	9 人
商店街	8 人
コンサルタント	1 人



平成 28.12 「立川南口まちづくり宣言」を発表 (立川南口商店街連合会)

※平成 28 年 12 月の開催で立川南口まちづくり協議会は 93 回を迎える

2. まちづくりの基本的な考え方

・私たちは「懇談会」の市民意向等も踏まえてまちづくりのあり方について話し合い、まちづくりの基本的な考え方（着眼点と将来像）を次のように整理しました。

1) まちづくりの着眼点

着眼点① 『立川南口らしさを活かす』

・南口のまちの特性に関しては次の3点が挙げられることが多い。それぞれメリット(○印)とデメリット(△印)の両面を持つため、「立川南口らしい」まちづくりを進めるには、メリットを伸ばしデメリットにどう対処するかを考える必要がある。

区画整理のまち ○ [道幅が確保され車が通行しやすい、道路沿いの見通しが良い]

△ [街並みが単調で歩道も狭い、ゆっくりまちを楽しむ環境が十分ではない]

個店が集積したまち ○ [商店街は温かく活気がある、多様性に富む] △ [品物や

サービスを探しにくい、店によりサービス等に差がある、まちが汚れている]

店舗と住宅が共存したまち ○ [地域住民の暮らしに便利、地元購買力に期待できる]

△ [住民の生活環境（日照・騒音・風紀等）が阻害される恐れがある]

着眼点② 『まちを個性化して繋いでいく』

・立川南口都市改造計画の答申(S51)の構想では、まち全体を活性化するため「まちの個性化」を図ること、まちの繋がりを高める「回遊道路の形成」を図ることが提案されている。まちづくりの重要な取り組みとして今後もこれらを積極的に継承し、商店街の個性化、快適な歩行者ネットワークの形成、街角空間の魅力化等を進め、にぎわいが駅前には留まらず四方に広がり、南口全体が活性化するように努めたい。

着眼点③ 『誰もが心地よく過ごせるまちにする』

・豊かさを求める現代社会では、刺激を楽しめるだけでなく、対極の「ゆったり心地よく過ごせる」ことも大きな魅力となる。南口には多様な小売店や飲食店、レジャー施設等は見られるが、子ども連れの家族や高齢者、親しい友人達が昼間ゆっくりとウィンドウショッピングや散策、おしゃべりを楽しめる商店街は少ない。こうした店舗の立地やサービス提供に努めるとともに、店頭や道路を花や緑で飾りベンチを設ける等、誰もが心地よく過ごせる空間づくりに取り組む必要があると考える。

着眼点④ 『象徴的な都市空間を創出する』

・南口には集客力の高い核施設がなく、現状では大規模店の立地等は望み難い。そこで、平板な街並みの中では少しのメリハリがまちの印象を際立たせることに着目し、目抜き通りの道路・街角空間の修景や沿道の街並み整備に注力することにより、来訪者の記憶に残る象徴的な都市空間・景観の創出に取り組むものとしていきたい。

2) まちの将来像

- ・以上のような諸点に着目して、まちづくりの基本となるコンセプト（理念）を次の通りに設定するとともに、この理念を南口地区に展開した将来のまちの姿（基本構造）を下図のように組み立てるものとなりました。

① まちづくりの基本コンセプト

■歩いて楽しめるまち

安全・快適な歩行者ネットワークが個性豊かな商店街や子ども未来センター等を結び、来街者や住民が快適にまちを回遊できる環境を実現する

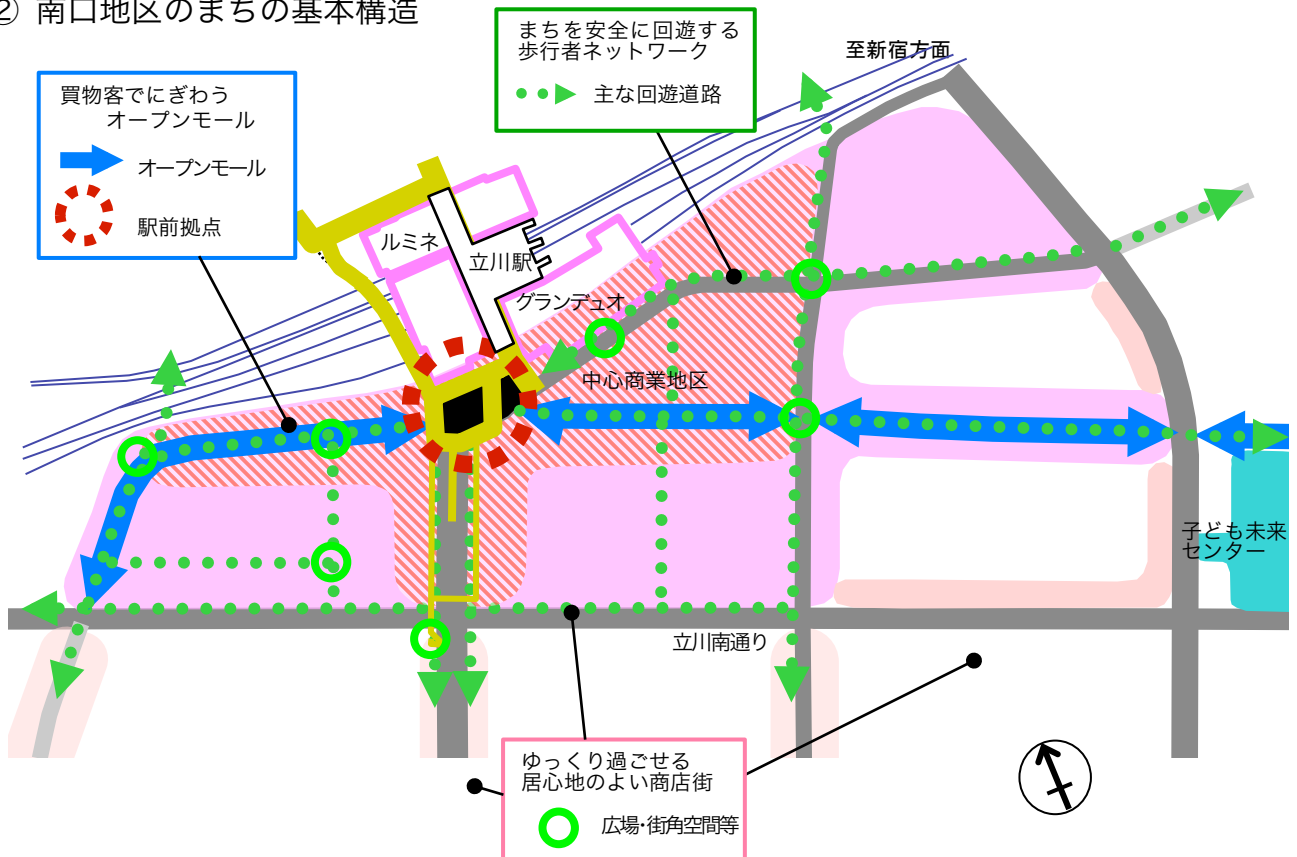
■にぎわいあふれるオープンモール

主要商店街を東西に結ぶ目抜き通りを歩行者優先型の交通環境とし、印象的な道路空間の創出と街並み形成により南口を象徴するオープンモールを形成する

■居心地のよい商店街

誰もが買物や遊び、出会いをゆっくり楽しめる様々な店舗や、憩い・散策の場となる広場や街角空間を南口のまち全体に展開し、居心地のよい商店街にしていく

② 南口地区のまちの基本構造



3. まちづくりの目標

- ・私たちは次のような目標を定め、その実現に向けて活動してまいります。また活動の内容は、社会経済等の状況やニーズを踏まえ必要となる見直しを行っていきます。

目標① 誰もが安全快適に利用できる歩行者重視のまちにしていきます

1) まちを回遊する歩行者ネットワーク

- ・立川駅と南口の商店街を結ぶ歩行者ネットワークを充実させ、まちの回遊性を高めるとともに、周辺市街地から駅前地区への利用動線を受け止めていくものとしします。
- ・歩行者ネットワークでは、歩道や歩行者優先道路の整備、交通規制、沿道での壁面後退等により、安全・快適な歩行者空間をつくり出していくものとしします。

2) ゆったり買物ができるオープンモール

- ・南口商店街を東西に結んでいる諏訪通り・すずらん通り・やすらぎ通り(立川通り以西)では、歩行者交通を優先した道路整備を目指し、青空の下でショッピングや散策をゆったり楽しめる買物通り（オープンモール）として位置付けていきます。
- ・オープンモールでは、並木や植栽、ベンチ等を配して道路空間の実現を図るとともに、沿道ではおしゃれな小売店やカフェ等も立地する魅力的な街並み形成に努め、南口を代表する目抜き通りに相応しい都市空間を創りあげていきます。

3) 商店街のバリアフリー化

- ・地形が平坦で高齢者等が歩いて移動しやすい南口の優位性を活かせるように、今後整備されていく道路空間や公共公益施設等とともに、商店街や個店においてもバリアフリー化を進めていきます。

目標② 車や自転車の利用にも便利な交通環境を構築します

1) 自転車が便利につかえるまち

- ・自転車を安全かつ利便に利用できることが望ましいとは思いますが、残念ながら駅周辺では違法駐輪防止の看板やカラーコーンが街を汚す要因になっています。そこで商店街としても、交通安全やまちの美観向上等の観点に立って、放置自転車の減少や交通マナーの改善等の取り組みに積極的に協力していきます。

2) 駐車・駐輪・荷捌きへの対応

- ・既存の駐車場、駐輪場の有効利用を促すとともに、店舗等の来客や従業員が利用する自動車・自転車が違法駐車等を生じないよう適正な管理と対策に努めます。
- ・人や車の通行を阻害する荷捌き問題は、着荷主(商店)だけで解決するのは難しく、集配業者への対応等も含むため、まち全体で統一的に取組んでいくように努めます。

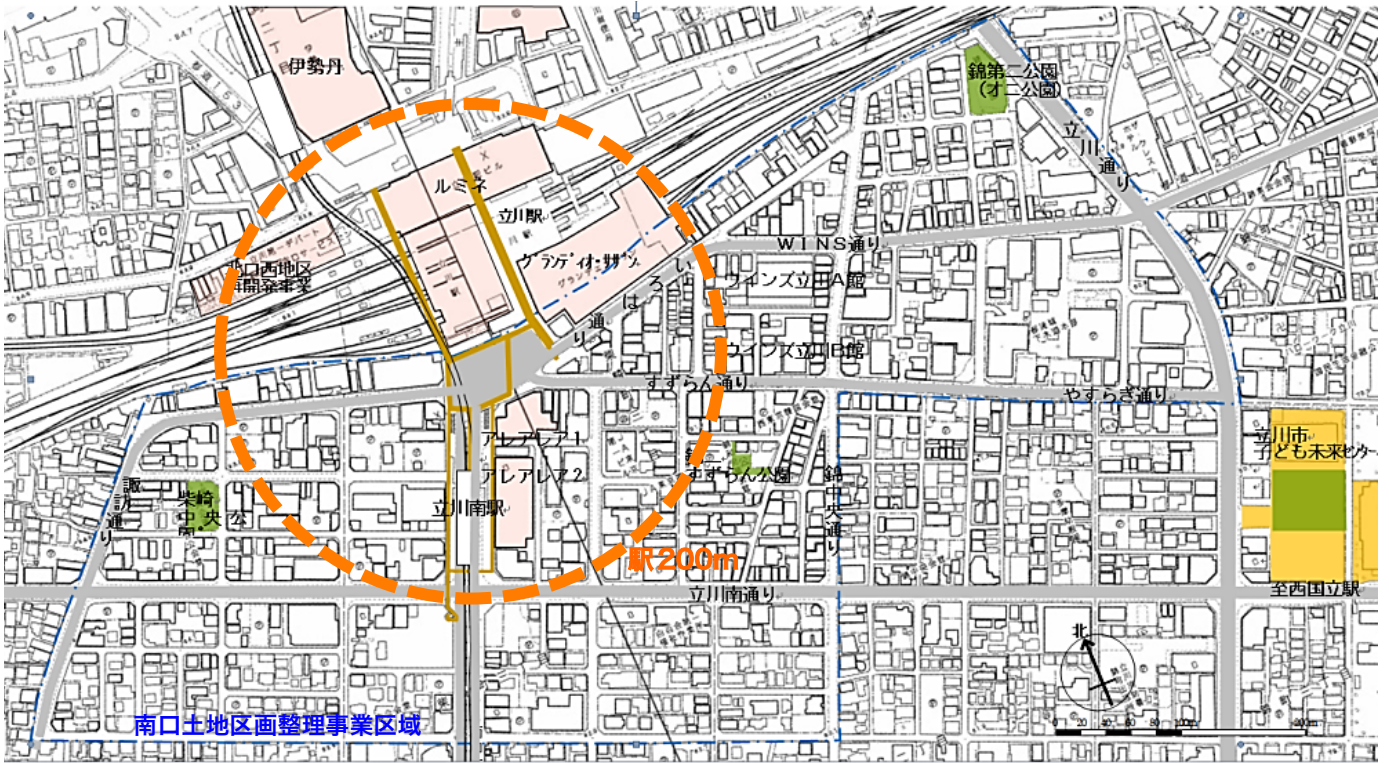
■立川南口地区の現状



写真① 立川駅南口



写真② すずらん通り



写真③ 諏訪通り



写真④ いろは通り

目標③ 買物や出会いを楽しめる商店街づくりに取り組みます

1) 多様で居心地のよい個店がつくる商店街

- ・中小規模の個店が通りに建ち並んでいる南口商店街では、各商店会が歩調をあわせ、個店集積の強み（活気がある・温かい・接客がよい等のイメージ）を発揮して、来街者に親しみを持ってもらえるように努力していきます。
- ・また、各商店会では、業種構成や立地特性、個性的店舗の有用性等を勘案して、それぞれに特色ある商店街づくりを進めていきます。（下記は代表的イメージです）
 - 様々な目的や年代層の店舗・事務所が集積し、買物客で終日にぎわう中心商店街
 - 多くの飲食・娯楽店等が立地し、夜も若者等でのぎわうアミューズメントゾーン
 - 住民等の暮らしに必要な買物や飲食、サービスを提供する地域密着型の商店街
 - ゆっくり買物や食事を楽しみ待ち合せや出会いの場となるおしゃれな商店街
 - 専門的な小売店やサービス店(スポーツ・文化芸術・美容等)を前面に出した商店街
- ・こうした単会の頑張りによって、南口全体として楽しく居心地の良い商店街づくりを進め、まちの競争力を高めていきます。

2) にぎわいを高め広げる中心商店街

- ・駅を囲む中心商店街では大きなにぎわいを創り出すため、駅前に相応しい土地の有効利用を進め、来街者ニーズを踏まえたバラエティ豊かな商店街形成を図っていきます。
- ・また、中心商店街の人通りが南口全体に広がるように、駅前から伸びる歩行者ネットワークの要所要所では人々の目を惹く魅力的な景観や広場・街角空間の整備に取り組むとともに、歩行者ネットワークに面する建物の低層階の用途規制(住宅等を禁止し店舗又は事務所に誘導)等も検討し、人の流れが途切れないようにしていきます。

目標④ 清潔で居心地のよいまちを目指します

1) まちのクリーンアップ

- ・商店街の建物所有者とテナント等は協力して、店先だけでなく道路なども含めた街のクリーンアップに取り組んでいきます。

2) ごみや集配物の管理

- ・商店街のごみや集配物(おしぼり、ビールケース等)はテナントごとに適正に管理し、来訪者から見えないように整えていきます。

3) 花や緑で彩られたまち

- ・商店街通りに面した敷地や植栽スペースは個々に管理して花や緑で飾るよう努め、商店街では花いっぱい運動等に取り組むことにより、潤いあるまちづくりを進めます。

目標⑤ 人々の暮らしと共存する健全な商店街の実現をめざします

1) 治安・防犯

- ・関係機関と連携して、パトロールを始めとする様々な防犯対策に取り組んでいきます。

2) 風紀

- ・駅南口周辺では、人々の迷惑となる違法な客引きや客待ち行為が行われないよう、適正な営業を商業者に働きかけていきます。
- ・建物所有者には、風紀を乱すようなお店に店舗を賃貸しないよう、またテナントには適正な営業を指導するように働きかけていきます。

目標⑥ 親しみやすく記憶に残る街並みづくりに取り組んでいきます

1) オープンモールの街並みづくり

- ・立体歩廊を主動線に持つ北口駅前とは対照的に、南口では花や緑、青空で彩られたオープンモールを歩行者動線の主軸に位置づけ、印象的な街並み形成に取り組めます。
- ・このため緑化推進等に加え、道路空間を多角的に活用して地域活性化が図れるよう、出会い・語らいのシーンを生み出すオープンカフェやマルシェの出店、買物客でにぎわう大道芸や催事等に利用できるものとし、歩いて楽しい空間形成を目指します。
- ・また沿道の商店街では、10年・20年後を見据えて個店の建替えや改修を誘導し、オープンモールに開いた明るい店構えや美しいショーウィンドウの店舗、緑や花に飾られた街角やおしゃれな建物等が増え、優れた街並みが形成されるように努めます。

2) 特色のある街並み形成

- ・他の商店街通りでも、建築物等のデザインや色彩、道路からのセットバック等に配慮して、心地よいスポット広場や植栽空間、遊び心のある建物整備等を進めます。
- ・また主要交差点がまちのメルクマール(目印)となるように、特徴ある街角空間の形成等を検討します。(道路舗装や緑化、建物デザイン、ストリートファニチャ設置等)

目標⑦ 南口のまちの姿や地域情報を利用者に発信していきます

- ・来街者に南口の魅力をPRし、「どこに何があるか判りにくい」等の声にも応えるため、これまでのイベント等に加えて、商店街の特徴や位置、催事等を情報発信する様々な取り組みを進めます。(商店街マップやIT技術を活用した情報発信、案内所の設置等)

目標⑧ まちづくりに取り組む仲間を増やしていきます

- ・私たちはこうした活動に率先して取り組むとともに、今後は南口の住民や店舗・テナント、事業者働きかけ、まちづくりについて話し合える仲間を増やし、協働で南口に相応しいまちづくりビジョンの策定と実現に向けた諸活動を推進してまいります。

■ 発行者 立川南口商店街連合会

立川南口すずらん通り商店街	日活大通り商店会
立川南口いろは通り商店街	南口西通り西会商店会
立川南口商店街	錦中央通り商店街
立川南口中央通り商店会	錦商店街
諏訪通り商店街	錦一二三商店会

[発行事務局] 株式会社 まちづくり立川

[制作協力] 株式会社 ユーマック (担当 若林)